

こうつうあんぜんテスト
(1・2年生よう)



こたえあわせ



- ① じてん車しゃに のるときは 〇〇〇〇をかぶる。
〇 に あてはまることばを かきましょう。

★せつめい★

〇 に入るはいのは 「ヘルメット」です。
じてん車しゃに のるときは あたまを まもることが
たい大せつですので かならず ヘルメットを かぶりましょう。



- ② じてん車しゃにのったときに りょう足あしのつま先さきが
〇〇〇につくくらいが 正しいただサドルの たかさである。
〇 に あてはまることばを かきましょう。

★せつめい★

〇 に入るはいのは 「じめん」です。
じてん車しゃは バランスのわるい のりものです。
バランスを くずしたときに からだを
ささえられるように サドルのたかさを しっかりと
あわせましょう。



- ③ じてん車しゃを うんてんするまえに しなければいけないことは
なんでしょう？
わくの中なかに 正しいただこたえを かきましょう。

★せつめい★

こわれたじてん車しゃを
うんてんするのは
きけんです。
じてん車しゃを
うんてんするまえに
こわれているところなどが
ないか しっかり てんけん
しましょう。



こたえ

ブレーキやライトが
こわれていないか、
しっかりてんけんする。
など

<交通安全テスト> 解答・解説（1・2年生用）

- ① 自転車に乗る時は、〇〇〇〇〇をかぶる。
〇 に 当てはまる言葉を書きましょう。

【問題のポイント】

★ 自転車に乗るときは、自分の命を守るために必ず乗車用ヘルメットをかぶりましょう。

【関係法令等】

- 道路交通法 第63条の11（児童又は幼児を保護する責任のある者の遵守事項）

児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、当該児童又は幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。（児童～6歳以上13歳未満、幼児～6歳未満）

- 交通の方法に関する教則 第3章第1節1（自転車に乗るに当たっての心得（抜粋））

(8) 子供の保護者は、子供が自転車を運転するときや、幼児を幼児用座席に乗せるときは、子供に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。また、シートベルトを備えている幼児用座席に幼児を乗せるときは、シートベルトを着用させましょう。

(9) 自転車に乗るときは、乗車用ヘルメットなどの交通事故による被害の軽減に資する器具を着用するようにしましょう。

<指導のポイント>

ヘルメットは頭部を守る大切なアイテムです。

ヘルメットはサイズの合ったものを選び、あごひもをしっかりと締め、正しくかぶりましょう。

自転車に乗るときは、子供も大人も万一の事故や転倒に備えてヘルメットをかぶりましょう。

- ② 自転車に乗った時に、両足のつま先が〇〇〇に着くくらいが正しいサドルの高さである。

〇 に 当てはまる言葉を書きましょう。

【問題のポイント】

★ 自転車にまたがった時に、両足先が地面に着くようにサドルの高さを調節しましょう。

【関係法令等】

- 交通の方法に関する教則 第3章第1節2（自転車の点検（抜粋））

自転車に乗る前には、次の要領で点検をし、悪い箇所があったら整備に出しましょう。

(1) サドルは固定されているか。また、またがったとき、両足先が地面に着く程度に調節されているか。

<指導のポイント>

自転車はタイヤが2本のバランスの悪い乗り物です。

両足がつかない自転車に乗ると、バランスを崩した時等にしっかり体を支えることが出来ず、倒れてしまいます。

しっかり両足先が地面につく高さにサドルを調節して自転車に乗りましょう。

③ 自転車を運転する前にしなければいけないことは何でしょうか？ 枠の中に正しい答えを書きましょう。

【問題のポイント】

★ 自転車に乗る前にはブレーキやライトの点検をしましょう。

【関係法令等】

- 交通の方法に関する教則 第3章第1節2（自転車の点検（抜粋））
自転車に乗る前には、次の要領で点検をし、悪い箇所があったら整備に出しましょう。
 - (1) サドルは固定されているか。また、またがったとき、両足先が地面に着く程度に調節されているか。
 - (2) サドルにまたがってハンドルを握ったとき、上体が少し前に傾くように調節されているか。
 - (3) ハンドルは、前の車輪と直角に固定されているか。
 - (4) ペダルが曲がっているなどのために、足が滑るおそれはないか。
 - (5) チェーンは、緩み過ぎていないか。
 - (6) ブレーキは、前・後輪ともよく効くか。
 - (7) 警音器は、よく鳴るか。
 - (8) 前照灯は、明るいか。
 - (9) 方向指示器や変速機のある場合は、よく作動するか。
 - (10) 尾灯や反射器材は付いているか。また、後方や側方からよく見えるか。
 - (11) タイヤには十分空気が入っているか。また、すり減っていないか。
 - (12) 自転車の各部品は、確実に取り付けられているか。

<指導のポイント>

- ① ハンドルは前輪と直角に固定されているか
 - ② ライトは明るくつくか
 - ③ ブレーキは、前・後輪ともよく効くか
 - ④ タイヤは十分に空気が入っているか、また、すり減っていないか
 - ⑤ ベル（警音器）は、よく鳴るか
 - ⑥ サドルは固定されているか、また、またがったとき両足先が地面に着く程度に調節されているか
- の順番で自転車の点検を行ってください。